

子育てに仲間入り

一月二十日、珍らしい冬晴れの仕事

帰りに寺尾伊夫公園の遊歩道を歩い  
てみました。お昼頃だったにもかかわら  
ず路面の氷はまだ鏡のようにキラキラと  
まじ、普通に歩けない状態でした。  
低温が続いています。

その後も週間天気予報図には、相変  
らずの雪が降るが並んでいますが、折角  
お昼から持て来ただいた雪が少しづ  
づの吐番は、つらなるのでしょうか。

「雪、降らせよう」と天に向って叫  
んでいる子どもたちの元気さとは裏腹  
に、豪雪の三五芳が無い年であること  
しんと、毎日テレビニュースの前後にあ  
る天気情報とに比べ、こらえています。

もうすぐ「節分」暦の上では春  
を迎えることになりませんが、インフルエン  
ザは数週間が出るほど、各地で大流行  
が始まっています。

「生知とは由いいますか、インフルエンザ  
にかかると「発症した後五日を経過

し、かつ熱が下がった後、三日間は、  
登園できない」というように、登園基準  
が変わりました。

インフルエンザには潜伏期間がありません。  
園では引き続き手洗いうがい空温、  
湿度の管理と換気をこまめにし、  
インフルエンザやかぜの予防に努めま  
ります。

お家でも、次の点に留意下さいませ  
ようお願いします。  
1. 外から帰ったら石けんで手を洗い引き  
続き、うがいをやる。  
2. 夜はできるだけ早く寝かせ、規則正し  
い生活をする。  
3. 三食(朝食)バランスのとれたものを食べる。  
4. 部屋の換気は一時間に一回を目安に行い、  
湿度は50〜60%を保つ。  
5. 体を冷やさないように室温は20〜22度。

元気発散、笑顔いっぱい、「生活展」を  
迎えられるようにようしく願います。

「生活展」は子どもたちが春四月から  
その時々の成長に合わせて描いたり作

ったり、構成したりしてきた作品を、思い  
たきながら成長を喜び合える節目  
にしたという願いで実施してまいりました。  
4回目の今年も、「でかけようまつり」  
ECOパークとテーマに、子どもたちひと  
りひとりが作ったものを持ち寄り、大  
きなものにまとめる持ち寄り型の共同  
製作や、資力を合わせて作り上げる過程  
を楽しんだ作品、自分なりの目標を持っ  
て工夫しながら構成した作品など、様々  
な要素を取り入れた力作を展示しま  
す。「生活展」という節目に、考えを工夫し  
て、表現できる子どもであって欲しい。  
助け合い、学び合おう子どもであって欲しい。  
という願いが目に見える形にならざる  
現われていることを、作品を通して感じて  
いただけると感じています。

当日は一枚の絵や、ひとつの作品のま  
はえを評価するのではなく、子どもたち  
四月からの生活と遊びと、育ちの日に  
仲間入りする気持ちを察し、心を分かち  
合ってきたか、と願っています。

お待ちしています。

園長 福田孝子